

る。また、予算の裏付けや工程表については、新年度に立ち上げるプロジェクトチームを主体として工程表を策定し、その中で各ビジョンの役割を誰が担当の明確化を図り、行政が負担すべき予算が伴うものについて、その都度、財政状況をしながら対応していく。

提言等

○佐井村の魅力は、美しい景観と豊かな自然、そして、人の優しさ、郷土芸能などの歴史的な遺産など数多くの「美しさ」があり、それを求めて村を訪れる人がいる中で、現状から考えると「美しい」とは反対の方向へ向かっているように感じる。その例が風力発電であり、果たして佐井村の景観にマッチしているか大いに疑問である。

○「美しいものに変えていく」だけでなく、「美しさ」を守る活動も大切であり、賛成意見

や反対意見など様々な視点の違いもあるが、十分な話し合いができる場の設定を望む。

○今の子どもたちが三十代になつた頃、明るい笑顔で佐井村で生活を送れるような村に変貌するよう頑張っていきたいし、こうした取組が成功するかどうかは、村政が大きなカギを握っており、その中で村長や議員の果たす役割は大きい。掛け声だけでなく、自ら先頭に立って全国に向け働きかけや行動を起こしてほしい。

○柔軟な発想を持つ若い世代と様々な体験や経験を持つ世代などが混じり合いながら話し合える場があればいいと思う。

○アクションプランについて、様々なアイデアがあり、どれも魅力的であるが、それを実現していくためには、行政の取り組みだけでなく、住民の意識を広く高めていく必要がある。

○夢の実現に向かって、地域住民の村に対する愛情や誇りをより豊かにすることが重要であり、多くの住民が、佐井村

の素晴らしさを再認識し、それを自覚しながら美しい村をアピールすることが大事である。

○アクションプランを具現化するための提案

一、村を学ぶ場の設定

- ・寺子屋を立ち上げ、テーマに基づいた学習会を開催
- ・古民家などを活用して学習の場とする。

二、学びの交流

- ・参加者自らがテーマに沿って焦点を絞り調査を行う。
- ・各自が調べたものを出し合い交流する。

三、学びの深化

- ・テーマに詳しい人材を招聘し、より深い学びをする。
- ・まとめたものを定期的に村内に発信する。

四、「日本で最も美しい村」への関わり

- ・学びを深めたものを「日本で最も美しい村」アピールの土台として活用する。
- ・「日本で最も美しい佐井村検定」を実施し、合格者は観光客へのメッセンジャーとして活躍してもらう。

まとめ

今回の「日本で最も美しい佐井村づくりビジョン」策定に際して、多くの意見や提言が寄せられました。いよいよ四月からは、このビジョンの実現に向けたアクションプランが少しずつ動き出そうとします。中には、形が見えるまでに相当の労力と時間を費やすものもあります。私たちができることから少しずつ、そして、果敢な挑戦をする村として、夢と希望、そして理想に向かって進んで行きま。それには、一人で行きま。仲間のできることで、組織でできること、行政でなければできないことなどありますが、共に手を携えながら歩んでいければと思っておりますので、引き続きご協力をお願いします。



the most beautiful villages in japan

佐井村
青森県